

## 連携先世界遺産： 比叡山延暦寺 古都の仏教 一伝教大師最澄・比叡山延暦寺の魅力と現代一

延暦寺の僧侶による堂塔伽藍の説明・千日回峰大行満大阿闍梨による講話を聞き、学生自身が新たな延暦寺の魅力を発見する。

### ■受講生

青池 祐樹（龍谷大学・文学部・4年生）、大貝 健太郎（龍谷大学・文学部・3年生）、岡田 温（龍谷大学・文学部・2年生）、小山田 博一（龍谷大学・文学部・4年生）、坂本 太賀（龍谷大学・文学部・4年生）、佐々木 利尚（種智院大学・文学部・1年生）、戸田 新太郎（龍谷大学・文学部・3年生）、灰方 亮真（立命館大学・文学部・1年生）、藤 智草（龍谷大学・文学部・2年生）、前中 悠樹（龍谷大学・文学部・4年生）、村上 太一（龍谷大学・文学部・4年生）

### ■担当教員

道元 徹心（龍谷大学・先端理工学部・教授）

### 活動目的・概要

比叡山は日本仏教の各宗派開祖の多くが修行し学んだことから「日本仏教の母山」と仰がれます。比叡山の約1700haの境内地に100を超える諸堂がありそれらを総称して「延暦寺」といいます。境内地の97%が山林という静かで美しい自然環境にあり、天然林を含む比叡山は「お山はお大師様の体、お山の木々はお大師様の衣」という意識で現代まで森林管理がなされています。平安時代、伝教大師最澄(767-822)は若くして比叡山に分け入り修行の地としました。そして自ら刻んだ薬師如来を本尊として一乗止観院（現在の根本中堂）が創建します。爾来1200年、『法華経』を中心とした天台教学が継承されます。講座では延暦寺を2回にわたり訪問し、現在大改修中である根本中堂をはじめとする諸堂を延暦寺僧侶に案内してもらいます。また堂宇を結ぶ道には行者道もあり、千日回峰行の行者道を歩く体験をし北嶺大行満大阿闍梨の講話を聞きます。このようなフィールドワークによって、受講生が比叡山延暦寺の伽藍と修行に関心を寄せ、学生自らが延暦寺の魅力を発見することに期待します。



### ◆主な活動

- 2023.9.28 ガイダンス、グループ分け
- 2023.10.5. 比叡山延暦寺に関する学習
- 2023.10.12 講義「伝教大師最澄の生涯と思想」
- 2023.10.15 比叡山延暦寺を訪問  
延暦寺一山金台院住職磯村良師による諸堂案内と説明
- 2023.11.2 班別活動①(班分け・各班でテーマ設定など議論)

- 2023.11.5. 比叡山延暦寺を訪問  
延暦寺の諸堂参拝と北嶺大行満大阿闍梨による特別講義「千日回峰行について」
- 2023.11.9 講義「比叡山での修行について」及び班活動
- 2023.11.16 班別活動②(プレゼンに向けての準備)
- 2023.11.30 班別活動③(プレゼンに向けての準備)
- 2023.12.7. 成果発表会リハーサル(龍谷大学大宮学舎)
- 2023.12.10. 成果発表会:大学コンソーシアム京都

## 活動の成果

### 延暦寺の魅力、その1:伽藍からの学び

「論湿寒貧」は比叡山延暦寺の特色を端的に表現していますが、特に寒についてはバスから降りた瞬間に感じました。今回の拝観で最も荘厳な雰囲気を感じたのは根本中堂です。修復工事現場では延暦寺の磯村良定先生による説明から、延暦寺が位置する自然環境を踏まえての修理であることを学びました。

大講堂に一步入ると本尊の大日如来が真っ先に目に留まり、堂内の白壁上部に飾られた釈尊をはじめ天台の祖師方を見て高僧たちの肖像に圧倒される思いがしました。

常行堂で修行をされていた行者さんに仏が目の当たりに現れた時、お堂の近くを通った人が外から見るとお堂が光って見えたと話を聞きました。「悟りの境地に至った」のか詳細についてはわからないようですが、修行を極めるとどのようになるのかなど、私たち自身でも色々と考えてみるようになるほど興味をわきました。1日のうちのたった数時間だけの伽藍見学でありましたが、延暦寺には見る場所・通る場所すべてに魅力があふれている印象を受けました。



### 延暦寺の魅力その2:天台修行の講話を聞いて

光永圓道大阿闍梨のお話では師の仏道観や行の在り方など本当に貴重なお話が聞けて感無量でした。苦行はただ苦しいというだけでなく、その行の中で自身の生き方・考え方を見つめ直し、心身を強くしていく内省の行でもあると感じました。「分からないことは聞くこと」が重要だという話があり、回峰行者さんの話は、私たちの社会生活にも通じる内容と受け止めました。千日回峰行はただ歩くだけでなくお参りの行で、自分自身の為だけではなく他者のためにも毎日力を出し切ると聞きました。大阿闍梨様の話は、今後も研究を続けさせていただく私たち自身のあり方を改めて見つめ直す機会になりました。







## 活動を振り返って

本講義では比叡山の修行と伽藍との二本柱で行われた。比叡山での2度の実習を行い、それぞれ比叡山の僧侶の方にご案内乃至お話を頂いた。修行も伽藍も本でその内容を知ることができる。しかし、それらは今も比叡山で生きて、活動している。それは文字だけでは分からない。この講義を通して比叡山の生に直で触れることが出来たと思う。（青池 祐樹）

私は今までsns映えする写真を撮ることをメインに神社や寺院を参拝することが多かったが、活動を通して建物や場所の歴史を知った上で訪問・参拝し、学びが深まる興奮を体感することができました。私は真宗学を専攻にしているため、天台密教の教学や歴史に知識が浅く、初めは活動への不安がありました。しかし比叡山を訪問し現地で学ぶ体験が私にとって新鮮であり、充実した貴重な経験をすることができました。（藤 智草）

この授業では教室での講義に加えて、比叡山延暦寺でのフィールドワークが2回実施され、僧侶さんや大阿闍梨さんの貴重なお話を聞いたのが非常に良かった。また、12月の発表に向けて、何もない状態から受講生間で何をどのようにして伝えていくべきかを議論し合ったことは良い経験となった。（灰方亮真）

戒壇院の設立背景には、最澄の苦悩があったことを理解できた。大乘戒独立は桓武天皇没後、南都諸宗、および空海との勢力争いに窮した最澄最後の大勝負であった。叶わなければ延暦寺の姿も、日本の歴史も変わっていたであろう。学びの機会を与えていただいた皆様とチームのメンバーに感謝申し上げます。（小山田 博一）

本活動の中で二度、比叡山延暦寺を訪れました。伝教大師最澄によって開かれ、日本仏教の祖師たちが修行した場所を初めて目の当たりにして、その歴史と伝統を感じるとともに、それらが現代でも修行する行者さんたちに受け継がれていることを知りました。非常に有意義で貴重な体験をさせていただきました。（戸田新太郎）

最初、コンソーシアムということは知らず、京都や奈良の仏像建築を学べるのかとフワッと思っていたが、全く違ったものであるということがびっくりした。また、定期と京都駅まで行くと220円がかかるため毎回涙を飲んで払った。貧乏大学生においてこのような苦しみを2度と味わいたくない。（岡田 温）

## 担当教員からのコメント

道元徹心

今年度は、2度にわたり比叡山延暦寺を訪れました。初回は磯村良定師に東塔・西塔の諸堂を案内して頂き、根本中堂をはじめ中心となる堂塔では歴史や教えの面についても詳しく説明頂きました。受講生と共に行者道を歩きながら、山上にある伽藍ならではの水資源として「弁慶水」の説明など学生にとって興味深いお話が満載でした。根本中堂だけの案内予定を終日お付き合い下さり大変感謝しております。また2回目の訪問では光永圓道北嶺大行満大阿闍梨さんから千日回峰行について講話頂きました。体験からの阿闍梨さんのお話は、学生生活を送る上で大切な示唆を与えて下さったと感じます。延暦寺の方々には大変お世話になったことを厚く御礼申し上げます。受講生は伽藍班と修行班に分かれ、比叡山延暦寺の魅力をプレゼンするため、授業時間以外でも通信アプリを使って協力していました。受講生が肌で感じ取ったことは体験として強く印象に残っていくでしょう。

## 活動資料



伽藍班と修行班に分かれて延暦寺の魅力について討議を重ねました。

戒壇院で詳しい説明に聞く受講生



## 2023.10.15 延暦寺 磯村良定先生による案内

根本中堂・浄土院・戒壇院を拝観しながら説明に聞き入りました。



## 2023.11.5 光永圓道大阿闍梨による講話

光永圓道北嶺大行満大阿闍梨の千日回峰行についての貴重な講話を聞かせて頂きました。修行を極めた行者さんの話は、私たちの生活の上にも参考になる内容でした。未知であった世界に関心を持って対面で学ぶことができました。

